

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社フィールズ

②施設・事業所情報

名称：明日葉保育園宮崎台園	種別：認可保育所
代表者氏名：畑 玲子	定員（利用人数）：60名（利用者 58名）
所在地：〒216-0035 川崎市宮前区馬絹2-2-3	
TEL：044-948-7080	
ホームページ：https://www.ashita-ba.jp/hoiku/miyazakidai/	
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：平成29年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社あしたばマインド	
職員数	常勤職員：15名 非常勤職員：8名
専門職員	（専門職の名称） 名
	保育士：21名 栄養士：1名
	看護師：1名
施設・設備の概要	（居室数）保育室：6室 トイレ：子ども用2室、大人2室 調理室：1室 事務室：1室 調乳室：1室 相談室：2室 （設備等）

③理念・基本方針

理念：

子どもの明日を育み、今日を支える。

明日葉の花言葉は「旺盛な活動力」。

私たちは、子どもが毎日を豊かに過ごせる保育を通じて、明日をたくましく生きる力を育みたいと考えます。

そして、子どもの健やかな成長を願うご家庭や地域社会とのコミュニケーションを大切にして、より良い今日をサポートします。

そして、子どもが今日をもっともよく生き、望ましい明日を作る基礎を培う

④施設・事業所の特徴的な取組

食育・体操・リトミックを開園当時から取り組んでおりますが、今年度より「あしたばドア」という異文化体験を保育園全体で取り組んでおります。

異文化に触れ、世界には色々な国と人々がいる。自分と同じ年齢の子どもがなぜご飯が食べれない？学校は？ゴミが沢山落ちている等を学びSDGsについても勉強しています。

その中で、今自分たちができる事は何か？を話し合い自主的に行動しています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和3年6月24日（契約日）～ 令和4年4月21日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	- 回（ 年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

1) 幼児期から地球全体を学ぶ保育に取り組んでいます

国連サミットで「持続可能な開発目標」が採択され、持続可能でよりよい世界を目指す「SDGs17のゴール」が国際目標として掲げられました。法人では各事業所に即した「SDGs」の取組を推奨しています。園では、この取組の一つとして園の特徴である異文化体験の「あしたばドア」「食育」を「SDGs」にコラボした保育活動を行っています。大人も子どもも一人ひとりできる行動として子どもたちに「貧困をなくす、飢餓をゼロに、安全な水とトイレを世界中に」とする17ゴールを分かりやすく伝えています。分かりやすい絵本や動画、海外の子どもたちとのZoom交流も取り入れ、世界の人を知り、世界で起きている問題を採りあげています。子どもたちが「見る・聞く・知る・考える」ことで発想力につながるようにしています。水の大切さから食べる行為の意識が高まり「節水、食べ残しによる食材の無駄使いや食器洗浄に使う水」について、園や家庭での毎日の行動に如実に現れてきています。日常生活の一つひとつの意味を知り、習慣化できる「SDGs」の取組が、幼児期からしっかり根付き始めています。

2) 食への興味・関心に創意工夫を取り入れています

園全体で食育活動を展開しています。栄養士・看護師・保育士で三者連携健康集会を開き、食べる姿勢など食育と健康教育を結び付けたプログラムも実施しています。実物体験やクッキングなどの食育活動の報告書には、反省・感想欄に栄養士と保育士の双方が記入しています。園庭で野菜を育て、給食で提供する食材を中心に、オリジナルキャラクター「みらいエナジー」を作成するなど、子どもたちが食材に親しみを感じる取組を多角的に行っています。保育園で「初めて食べる」ことを避けるため、保護者と連携して食材の摂取状況を調査しています。特に0歳児クラスの保護者とは「離乳食BOOK」を使って、各食材を子どもが家庭でいつ初めて食べたか確認しています。

◇改善を求められる点

1) 日々の課題克服の連続が目指すビジョンへの近道

園は、短期・中期・長期の10年までのビジョンを策定しています。ビジョンにむけて毎年事業計画・報告を作成していますが、事業計画が漠然としており、目標達成までのプロセスが明確にされていません。連動する事業報告も「実施したか否か」にとどまっています。職員の共通意識に繋がるよう、課題の明確化と重要施策によるビジョン達成へのプロセスを明確にすることが望まれます。

2) 保護者と職員の意見を集めた改善活動

保護者が意見を述べやすいように環境を整備しています。また職員が働きやすい職場作りへ取り組んでいます。しかし、保護者からは意見や提案が反映され難いとの評価もされています。職員からも現場の意見が管理者に伝わらないとの意見があります。今後は意見が言いやすく、意見などの検討結果が明らかで、関係者が共有し協力しあう仕組みの検討が期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

明日葉保育園 宮崎台園では初めての第三者評価を受けました。評価を受けた事で園の課題が一つひとつ明確化され、課題への対策等、分かりやすく丁寧に教えていただく事ができました。今後の園運営に大変勉強になりました。また、とても親身に話を聞いてくださり相談もさせて頂きました。ありがとうございました。保護者の皆様から頂いたご意見を受け、社員一同より良い保育園を目指していきたいです。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり